

甲信越臨床工学技士連絡協議会の関東甲信越臨床工学技士協議会合併についてのご報告

日頃より甲信越臨床工学技士連絡協議会の活動に格別のご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新潟県、長野県、山梨県の臨床工学技士会で構成される甲信越臨床工学技士連絡協議会が発足し 12 年が経過しました。新潟から始まった甲信越臨床工学会も長野、山梨と引継ぎ、毎年各県持ち回りで知識や技能の研鑽を重ねて参りました。また、組織活性化委員会 Y ボード甲信越ブロックでは、尾瀬ハイキング、上高地ハイキング、富士山登山、ランニングやセミナーなど 3 県臨床工学技士間の交流や親睦を深め、また、自県技士会だけではなかなか取り組めない活動を行ってまいりました。

さて、関東臨床工学技士協議会と甲信越臨床工学技士連絡協議会では平成 29 年より合併について検討して参りました。これは日本臨床工学技士会内部理事規定変更に伴うブロック理事に関東甲信越が合併する事で、より多くの内部理事が選出できる利点、 関東臨床工学会と甲信越臨床工学会を合同開催する事で、参加者も規模も内容も充実させる事ができ、会員の皆様にさらに有意義なブロック工学会の提供が可能となる事が大きな理由です。

そこで、検討を重ねた結果、この度、令和 3 年 7 月より 10 都県臨床工学技士会(東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、群馬、栃木、新潟、長野、山梨)からなる関東甲信越臨床工学技士連絡協議会が発足する運びとなりました。甲信越臨床工学技士連絡協議会では、令和 3 年 10 月 3 日、コロナ禍で延期しておりました第 11 回甲信越臨床工学会 in 山梨を 3 県での最後の節目とし、また、新たに船出として令和 3 年 10 月 31 日群馬県で開催される第 1 回関東甲信越臨床工学会として開催する事となりました。

新潟、長野、山梨 3 県で活動して参りました 12 年間の歴史も新たに関東甲信越臨床工学技士連絡協議会の一部とし、今後、益々発展し皆様に還元出来るように理事、関係一同努めて参りたいと思います。会員の皆様にまだまだコロナ感染症の対応で大変な時とは存じますが何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

甲信越臨床工学技士連絡協議会

(一社)新潟県臨床工学技士会 会長 泉 祐一

(一社)長野県臨床工学技士会 会長 宮川 宜之

(一社)山梨県臨床工学技士会 会長 石井 仁士